

清濁あわせ容るる 量あるは水なり

これは「自ら潔くして、はじめて他の汚職を洗える」という道理であります。

しかし、ときには自分も泥水をかぶらなければ、相手を救えない場合もあります。

水は雲や雨や雪や霧や、あるいは氷とさまざまに様相を変えますが、その本質を決して失いません。一休和尚（一四八一年没）は「雨あられ雪やこおりとへだつれどくればおなじ谷川の水」と詠じます。水の本質は外見のいかんに関係なく同じですが、はたらきはそれぞれ違います。氷は冷却するはたらきがありますが、水蒸気は熱機関となります。水は洗濯は出来ますが、水では何も洗えません。

私たちが、その時その場の必要に応じた生き方をして、人や社会に尽くせとも学べます。あるいは、それぞれの個性を生かせともなりましょう。個性に差はあっても人間の心に変わりはありません。

また、こうも学べます。人間の心は、時には鬼や餓鬼や畜生や修羅に変わりますが、醜い心の底には誰しもほとけの命が埋めこまれているのだと。一休は、この真実をうたいあげているのです。つまり「水のように生きよう」との生き方こそ心の杖ことばとなつて、私たちの一生を支えてくれるのです。

さて、お盆が近づいてまいります。仏教の行事としてのお盆は、梵語の盂蘭盆会のこと。会とは仏が説法する場、盂蘭とは逆さ吊りの苦しみ（倒懸）を表し、むさぼりに支配された餓鬼界を意味します。その苦しみを救うために、盆に種々の飲食を盛り衆僧に供養することから、後に祖先の霊を供養して冥福を祈り、餓鬼界から救うという行事となりました。釈迦の十大弟子の一人目連が、餓鬼道に堕ちた母を救うために行ったとの盂蘭盆経の説話によると、諸説ありますが、日本では推古天皇十四年（六〇六年）に行われたのが、その始まりとされています。地方や宗派により七月か八月の違いがありますが、お盆の入り十三日には迎え火で精霊を迎え、十六日には送り火を焚いて送ります。今では生活様式の違いもあり、精霊棚まで設ける家庭は少なくなりましたが、仏前を整え供物を供え、ご先祖への報恩・供養に努めたいものです。また、法を信じ修行すること（行供養）こそが真の供養とされることから、常盆・常彼岸の気持ちで、お盆を節として自身の行動を顧みながら、先祖を敬うことがもつとも大切なことでしょう。

夏の謝恩セール

8月27日(火)まで開催

御影石材 4つのこだわり

1、安心の国内生産・加工

当社は、現在流通している数百種にも及ぶ石材の中でも特に美しく堅牢な石だけを厳選使用しております。

2、書家による揮毫

文字は石碑の顔ともいえる大切な要素。当社は、有名書家による揮毫にこだわり、一枚一枚、一筆に心を込めております。

3、深い文字彫刻

書家によって書かれた文字は、彫り師の卓越した技術があつてこそ、さらに命が吹き込まれます。

4、永代保証

品質・施工に責任を持つてお付けする御影石材ならではの永代保証。万一の場合は、無償で修理・交換いたします。

ご来店の方に

これ一冊でお墓のすべてがわかる

①「石」パンフレット

進呈

②天然石

プレスレット

進呈

ご成約の方に

(文字彫刻等を除く)

① 通常価格の **1割引** で

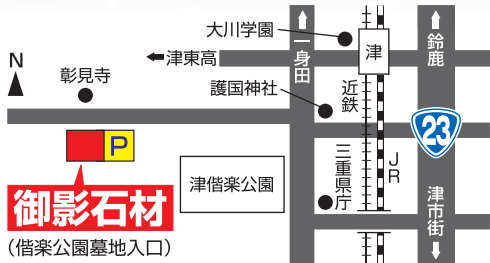
させていただきます。

さらに、新規で
建墓ご成約の方に

② プリザーブド
フラワー進呈



津借楽公園西側です



●本店・展示場 津市広明町1007-1 (営業時間/AM9時~PM5時・水曜日定休)

☎059-224-1700(代) ☎0120-142540 (石に御用)

リニューアル!

当社ホームページが新しくなりました!
<https://mikage-stone.com>



高田本山御用達店・三重県仏教会御推薦店

御影石材株式会社

夏季休暇 8月10日~8月14日

恐れいりますが、左記期間は休業とさせていただきます。